

難接着材用プライマー(瞬間接着剤専用)

■難接着材用プライマーで、接着できる材質の幅を広げます

接着が困難であったPE、PP、シリコンゴムをはじめ各種エンジニアリングプラスチックを短時間で強力に接着するために開発された瞬間接着剤専用の前処理剤です。幅広い材質に適応し、高強度接着を可能にすることで、多くの工業製品の組立て、補修などの接着に対応いたします。

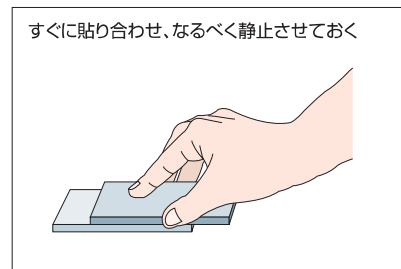
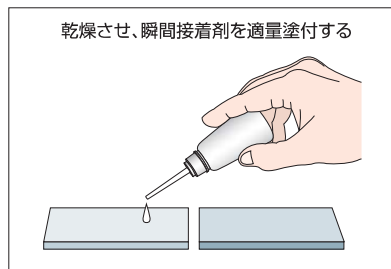
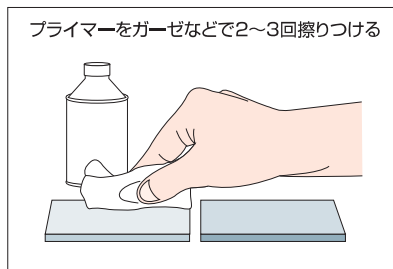
◆使用方法

- (1) 接着する面についている汚れ、油分を取り除きます。
- (2) ガーゼなどに含ませ、接着面を2~3回ほど擦り付けるよう塗付します。または、刷毛で接着面に塗付します。
 - PR500は過剰に塗付すると接着強度が低下するため、薄く塗付するよう刷毛塗りやガーゼなどに含ませて2~3回ほど軽く擦り付けるよう塗付すること。
- (3) 乾燥後、接着面の片面に瞬間接着剤を点・線状に適量を塗付し、すぐに貼り合わせ固定します。
- (4) 実用強度に達するまで、約30分(シリコンゴムは数分)はなるべく静止させてください。



◆適応材料

品番	PR500	PR550	PR700	PR960 [■]
適応材料	PE、PP、POM、EPDM、 軟質塩ビ、TPO	PP、PE、POM、EPDM、 軟質塩ビ、TPO、ナイロン	シリコンゴム、軟質塩ビ	フッ素樹脂



品番	PR500	PR550	PR700	PR960 [■]
外観	無色透明液体	無色透明液体	無色透明液体	無色透明液体
比重	0.72	0.79	0.77	0.77
危険分類	危険物第四類第一石油類			
主成分	オクタン	アセトン	アルコール メチルシクロヘキサン	メチルシクロヘキサン
容量	250ml	250ml	250ml	250ml
オープンタイム	20分	12時間	2時間	5分
引張りせん断強度 (N/mm ²)	ポリエチレン	※4	※4	—
	ポリプロピレン	※4	※4	—
	EPDM	※1	※1	—
	軟質塩ビ	※2	※2	※2
	シリコンゴム×シリコンゴム	—	—	※0.5
	シリコンゴム×クロロブレンゴム	—	—	※0.5
	シリコンゴム×ウレタン	—	—	※0.5
	シリコンゴム×鉄	—	—	※0.5
PTFE(フッ素樹脂)	—	—	—	※2.5

・表中の※印は、材質が破壊したことを示す。
 ・オープンタイム: プライマーを塗付後、接着作業に入るまで放置しておく時間(プライマーの効果が維持できる時間)です。
 ・オープンタイムは材質や環境により変化します。乾燥後は出来るだけすみやかに接着作業を行ってください。
 ・上記以外にも難接着材用プライマーを取り揃えておりますので、お気軽にお問い合わせください。

◆取り扱い上の注意

- 取り扱い場所の換気をよくし、引火性ですので火気の付近で使用しないでください。
- 眼に入ったときは、きれいな水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮についたときは、石けんと水でよく洗い落としてください。
- 使用後は、密栓をし冷暗所に保管してください。
- 瞬間接着剤と離して保管してください。

産業界で使われるほとんどの材質を接着できます。

■材質別選定表

	木材	セラミック／陶器	石材	EPDM	クロロプレン	天然ゴム	TPO (オレフィン系エラストマー)	シリコーン	PP／PE／PBT	ナイロン	ウレタン	POM	ポリエステル	PET	ポリカーボネート	フェノール	塩ビ	アクリル	ABS	メッキ	鉄／アルミ／SUS
鉄／アルミ／SUS	W	CN W	EE W	D EZ	EE CN	D	88 EZ	EE CN	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D CN	EE CN	EE CN	EE CN	EE CN	EE CN	CN M	CN M
メッキ	W	CN W	EE W	D EZ	EE CN	D	88 EZ	EE CN	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D CN	EE CN	EE CN	EE CN	EE CN	EE CN	CN M	
ABS	W	CN W	EE W	D EZ	EE	D	88 EZ	EE	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	EE	EE	EE	EE	EE		
アクリル	W	CN W	EE W	D EZ	EE	D	88 EZ	EE	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	EE	EE	EE	EE			
塩ビ	W	CN W	EE W	D EZ	EE	D	88 EZ	EE	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	EE	EE	EE				
フェノール	W	CN W	EE W	D EZ	EE	D	88 EZ	EE	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	EE	EE					
ポリカーボネート	W	CN W	EE W	D EZ	EE	D	88 EZ	EE	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	EE						
PET	EZ	EZ	EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	D EZ							
ポリエステル	EZ	EZ	EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ								
POM	EZ	EZ	EZ	88 EZ	88 EZ	88 EZ	88 EZ	88 EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ	88 EZ									
ウレタン	EZ	CN W	EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ										
ナイロン	EZ	CN W	EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	D EZ	D EZ	D EZ											
PP／PE／PBT	EZ	EZ	EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	D EZ	D EZ												
シリコーン	EZ	EZ	EZ	D EZ	D EZ	D EZ	88 EZ	88 EZ													
TPO (オレフィン系エラストマー)	EZ	EZ	EZ	88 EZ	88 EZ	88 EZ	88 EZ														
天然ゴム	W	CN W	EE W	D EZ	D T	D T															
クロロプレン	W	CN W	EE W	D EZ	EE T																
EPDM	EZ	EZ	EZ	D EZ																	
石材	W	CN W	EE W																		
セラミック／陶器	W	CN W																			
木材	W																				

PR500、PR550で前処理するとより効果的です。

PR700での前処理が必要です。

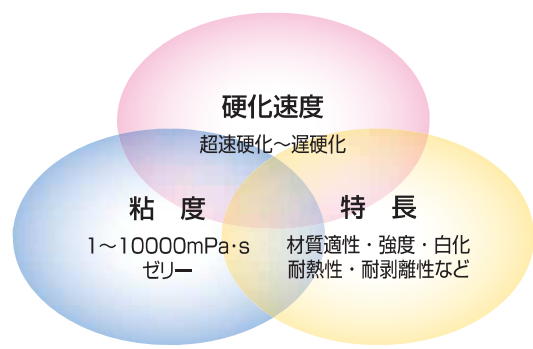
PR500、PR550での前処理が必要です。

- ◎硬化を早くしたいとき→ EZシリーズなど(速硬化、超速硬化タイプ)を使用。またはスプレープライマー、PR150など(硬化促進剤)を併用。
- ◎硬化を遅くしたいとき→ Z106、ジェルなど(遅硬化タイプ)を使用。
- ◎白化を防止したいとき→ Z26、Z27、Z28S(低白化タイプ)、Z84シリーズ(無白化タイプ)を使用。または、スプレープライマー、PR150など(硬化促進剤)を併用。
- ◎臭いが気になるとき→ Z26、Z27、Z28S(低臭タイプ)、Z84シリーズ(無臭タイプ)を使用。
- ◎接着面にすき間がある場合やしみ込みを抑えたいとき→ Wシリーズなど(中粘度、高粘度品)を使用。
- ◎天面や壁面の接着、充てんや盛上げ接着をしたいとき→ ジェル、スピードジェル(ゼリータイプ)を使用。
- ◎接着しにくい材質のとき→ D、88など(難接着材用タイプ)を使用。または、PR500、PR550、PR700など(難接着材用プライマー)を併用。
- ◎フッ素樹脂のとき→ PR960を併用。

※表は接着剤選定のめやすです。基準になるものを選び、粘度、硬化速度、強度などの条件に合わせて、最適な品番をご使用ください。

カスタマイズシステム

標準品以外にも、材質や条件によりさまざまなグレードを用意しております。要求性能に適合するタイプがない場合はカスタマイズシステムをご利用ください。接着する材質、粘度、硬化速度、強度、ご使用量などをもとにオリジナルタイプを作製いたします。接着剤塗付の確認のための着色も可能です。オーダーにあたっては、細かな打ち合わせが必要です。詳しくは当社までお問い合わせください。



お使いになるときの注意



皮フについた場合

無理にはがさず、お湯(40℃)の中でゆっくりともみほぐしながらはがすか、専用のハクリ剤やアセトンなどの溶剤を使用してください。



飲み込んだ場合

量が少なければすぐに固まります。あわてずに大量の水で口をすすぎ、固まった接着剤を手でとります。大量の場合はやけどをすることがありますので、水で冷やしてすぐに医師の手当を受けてください。



眼に入った場合

清浄な水で繰り返し洗浄し、医師の診断を受けてください。眼をこすったり、ハクリ剤やアセトンなどの溶剤は、絶対に使用しないでください。



こぼれた場合

布などに大量に付着すると発熱するのでやけどに注意してください。また、しみ込むと取り除けません。机などにこぼした場合は、硬化前ならポリエチレン製手袋を着用し、布などで少量ずつふき取ってください。硬化した後は、塗装などへの影響を目立たないところを確認し、アセトンなどで少しずつはがしてください。



吸引した場合

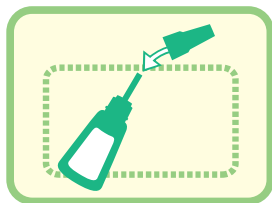
空気の新鮮な場所に移動し、うがいをしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。



作業環境

刺激臭があるので換気に注意してください。長時間使用したり、大量に連続して使用すると、眼、鼻、のどを刺激します。取り扱い場所の周辺は、接着剤の臭気が滞留しないように換気に配慮し、火気厳禁としてください。

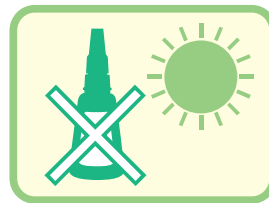
お使いになった後の注意



●使用後は、ノズル先端をきれいにふき取り、キャップをして火気のない乾燥した冷暗所に保管してください。



●アルカリ性の雰囲気のある場所や、硬化促進剤、アミンなどと一緒に保管しないでください。



●紫外線でも硬化しますので、直射日光のあたるところに置かないようにしてください。



●幼児や低学年児童の手の届かないところに保管し、いたずらをしないように注意してください。

廃棄するときの注意

接着剤を少量ずつ直射日光にあてて硬化させ、廃プラスチック類として処理してください。各自治体の定めた処理方法に従ってください。

